

ます」と、増床・病棟開設の経緯を説明する。

また、周辺に大学病院をはじめ大規模な急性期病院が複数ある立地環境をふまえ、ケアミックスを病院として、国が進める医療機関の機能分化の方向に沿いながら、地域医療を支えるため同病棟の開設に踏みきった。

梶原正章院長は「高齢の入院患者さんが増える一方で、国の政策により在院日数の短縮が求められるなか、急性期治療後すぐに在宅復帰が難しい患者さんの療養などを行う地域包括ケア病棟は、ますます重要な医療資源になっていくと考えます」と話している。